

## 鳥羽市部活動検討委員会 会議録

|  |  |
|--|--|
| 会議の名称  | 第3回鳥羽市部活動検討委員会   |
| 開催日時   | 令和5年7月26日（水）18：30～20：00  |
| 開催場所   | 鳥羽市民体育館 中会議室   |
| 内容   | <p>■第3回鳥羽市部活動検討委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員長あいさつ</li> <li>2. 委員長・副委員長の選出</li> <li>3. 自己紹介</li> <li>4. 議長選出</li> <li>5. 説明事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和4年度協議内容の振り返り</li> <li>(2) 令和5年度実施保護者アンケート結果の報告</li> <li>(3) 現時点の事務局の考えと視察結果の報告</li> <li>(4) 「中学生世代の新たな地域クラブ活動推進計画（たたき台）」の提示と今年度の協議スケジュール</li> </ol> </li> <li>6. その他</li> </ol> |
| <p><b>【主な質疑応答・委員からの意見】</b></p> <p>(委員)<br/>2点お伺いしたい。</p> <p>①資料3のP3に記載のある「指導者（専門性の低い方）の確保」とあるが、どこまでのレベルを想定しているのか？</p> <p>(事務局)<br/>理解のある保護者等で、普段練習を見ていて指導する場合や引率時の役割等を含め、普段はサブ的な役割をすることを想定しています。</p> <p>(委員)<br/>人数を確保するためという理解でよいか？</p> <p>(事務局)<br/>はい。</p> <p>②資料3のP4（表）において「競技別協会」と記載されている。これは、体育協会の中にある団体のうち、部活動にある競技の団体（12団体）というイメージでよいか？</p> <p>(事務局)<br/>はい、そうです。</p> <p>(委員)<br/>本日たたき台等を示していただき、説明を受けたが、とても難しい話である。種目も違うので、疑問点も異なると思う。部活動だけでなく、地域で動いてる（スポーツ）団体等もある。それらも踏まえて方向性を決めていく必要があると考える。今後、時間をかけて議論してもらいたい。</p> <p>(事務局)<br/>離島については、こちらからお邪魔して話を進めていく必要があると考えている。また、本土側については、体育協会の各競技団体が色々な方（団体等）を知っているので、（体育協会には）調整に回ってほしいと考えている。調整の中で、議論をしていただくというイメージをしています。</p> <p>(委員長)<br/>シンプルに話をすると、主な課題は「組織・体制」「指導者の確保」「運営費用」の3つに集約できる。本日は全体的なたたき台により説明したが、これらを個々の団体に当てはめながら</p> |  |

話を進めていかなければいけないと思うので、まだまだ時間を要するものである。

(委員)

現場サイドから、先生(教員)の意見をお聞きしたい。

(委員)

話を聞いていて、何ができるのかを考えてみた。仮に兼職兼業が認められ、報酬をもらった場合に部活動の指導を行うかというのと、やらないという先生が結構多い。そうすると人材確保が一番困難であると思っており、教員をあてにするのは難しいと思っている。

部活動数12で一度に動いていくのが困難と感じているので、できる部活動から始めていくことと、中学校の部活動競技数を減らしていくほうがよい。そうすることで、部活動に充てている教員の負担が減るため、地域移行にとってもメリットにもなると思う。現在、剣道が部活動になったが、地域クラブとしてやっていけば間違いなく教員の負担は減る。そういう方向で行わないと、鳥羽での地域移行は難しいと思う。

(委員長)

早島町に視察に行った際、鳥羽市と同規模程度の自治体であったが、地元の教員はほとんどいない。その中で、部活動を行いたい教員が(鳥羽市の)5,6倍はいることに驚いた。

中学校の先生だけに頼ってはだめで、小学校の教員にも協力いただく必要がある。

三重県が出している週勤務時間の上限である45時間について、県教委が見直す方向で検討している。赤磐市は80時間であり驚いているが、全国的に45時間を見直す流れである。

いずれにしても、中学校の教員だけに負担がいくことはいけないと思う。

(委員長)

保護者負担についてですが、視察でその件について話が出た際、学校部活動という位置づけで行っていたため、負担はない状況でした。

(委員長)

スポーツクラブはお金をもらって活動しているという理解でよいか？

(委員)

(レスリングは)月3,500円です。

(委員)

(ソフトボールも)月3,500円です。

(委員長)

地域のスポーツクラブでは会費徴収が当たり前となっているが、部活動が移行した時にスポーツクラブと同じだけの会費を徴収することは、かなりハードルが高い。

(事務局)

こういったこともあり、資料5では、「学校部活動」と一言も入れませんでした。

(委員)

これらの会費は、指導者の謝金や指導料は含んでいないのですか？

(委員)

ほぼボランティアで、高速代や弁当代だけです。

(委員)

これから地域移行の話を進めていく中では、手当等も含めて考えていかなければいけない。

(委員長)

地域移行の話が始まった時は、国が補助を出すということであったが、国の予算が削られた経緯がある。

(事務局)

国からの補助は現在、永続的なものはなく、少し進めてみようという自治体に補助しようというくらいのものしかないです。

(委員)

部活動地域移行に、教育委員会が関わっている自治体は多いのでしょうか？

(委員長)

今のところは教育委員会が主導で行っている。

(委員)

大会と日々の部活動の話は別物で考える必要がある。

(委員)

生涯学習として部活動を行っていくというスタンスであれば、競技に長けている指導者を集める必要はない。見てくれている人さえいればいいという話になる。

(委員長)

(なかなか) 保護者は黙っていないと思う。

(委員)

保護者の立場から言うと、子ども達の気持ちの温度差は大きい。

本来、「勝負」と思うところが、そう思って活動している子どもたちは少ないように感じる。

だから、安全に子どもたちを見てくれる、気持ちの熱い人であれば、指導員としてはいいのかなと思う。

(委員長)

確かに温度差はあり、楽しくやればいいのかという子もいれば、上を目指したい子もいる。

(委員)

うちの団体(ソフトボール)でも、入ってくる段階で勝利主義の子とレクリエーション感覚の子がいる。一緒に練習をさせると、(レクリエーション感覚の子)が足を引っ張る。

ただ、熱意を持って取り組み始めると、知らないうちに素振りをしている子や、引退する際、高校でもソフトボールがしたいという子もいる。

(委員)

事務局が言われたように、資料5では、部活動とは書いていない。地域クラブは民間なのでお金をもらうことは当たり前のことだが、部活動は、目に見えた費用負担はないのが現状である。部活動の地域移行を行うにあたり、地域移行した段階で有料になるという話だけでは(保護者からすると)ただの負担にしかならないので、費用負担のことをふくめ、しっかり議論していく必要がある。

\* 次回(第4回)開催日: 令和5年8月31日(木) 18:30~19:30